

飛べ！ペーパーグライダー 浜田 国府小などで滑空機教室

山陰 2026/7/24 04:00

保存



ペーパーグライダーを飛ばす子ども＝浜田市下府町、国府小学校

子ども向けのグライダー（滑空機）教室がこのほど、浜田市下府町の国府小学校などであった。未就学児から中学生までの17人が大型のグライダーを見学し、小さなペーパーグライダーを飛ばして楽しんだ。

NPO法人いわみ風の丘飛行クラブ（梅谷堅三代表、15人）が主催した。国府小の屋外で2日間、両翼22メートルの2人乗りの大型グライダー「DG500M」を披露した。子どもたちはエンジンとプロペラを内蔵したドイツ製の機体に興味を示していた。

座学では、クラブのスタッフから離着陸には向かい風があった方が有利になることなどを教わった。板製の胴体と紙製の20センチ程度の両翼を組み合わせてペーパーグライダーを作り、体育館で飛ばして滞空時間を競った。

浜田市のうみかぜこども園の金川史都ちゃん（4）は「いっぱい飛ばせて楽しかった」と笑顔を見せていた。梅谷代表（70）は「若い世代が空への興味を持つきっかけになるとうれしい」と話した。

（宮廻裕樹）